

令和5年4月13日

No.0134

イマジン
ロータリー

2022-2023年度RI会長

Jennifer Jones

プログラム

「RI (ロータリーリーダーシップ) について」
明石北ロータリークラブ 吉川 悟氏

今月は母子の健康月間です。

委員会報告

「出席・ソング」
当番: 中谷・谷

本日のソングは「さくらさくら」です。

「親睦活動」
当番: 瀬川・西大條

おめでとうございます。

結婚記念日 4月16日 福永博一会員

誕生日 4月16日 植田哲嗣会員

「職業奉仕」
「ロータリー情報」

『ロータリー百話』をお配りいたします。

「職業奉仕」

次週4月20日(木)例会終了後職業奉仕委員会を開催します。

「国際奉仕」

6月21日(水)鳳山東ロータリークラブ40周年記念例会(台湾旅行)に参加予定の方に「海外旅行のためのお伺い書」をメール・FAXで送信しました。JTB中川様あてに4月18日までにメールまたはFAXでご提出ください。

「グリークラブ」

本日、例会終了後練習を行います。メンバーの方はお残りください。
7月29日(土)神戸ポートピアホテルで「第26回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭」が開催されます。合唱祭・懇親会の参加・不参加をご記入ください。

「前週プログラム」

「遺伝子組み換え技術」 大森喜和会員



岡本果奈会員 入会

明石は子午線の町です。時間を守りましょう

例会日 毎木曜日 18:00~19:00
例会場 シーサイトホテル舞子ビラ神戸
神戸市垂水区舞子町18-11
TEL (078)706-3711事務局 神戸市垂水区東舞子町18-11
シーサイトホテル舞子ビラ神戸361号室
TEL (078)708-7674
FAX (078)708-7675
E-mail: akashihigashi-rc@cap.ocn.ne.jp

幹事報告

- ①次年度への「申し送りクラブ協議会」を5月18日(木)16時30分から本館3階「萩の間」で開催いたします。新旧各委員長、入会3年未満の会員の方はご出席ください。
なお、資料作成用紙を本年度委員長にメールで送信いたします。4月27日(木)までに事務所にご提出ください。
- ②4月9日(日)「2023学年度米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション」が神戸ポートピアホテルで開催され、伊藤(明)会員が出席いたしました。
- ③次週(4月20日)の例会場は本館3階「舞子の間」です。

*****~::~~*****~::~~*****~::~~*****~::~~*****

前週の記録

「出席率」 4月6日 48名中 出席35名(出免者11名含) 77.78%
「メイクアップ」 日置会員(1/19分明石)

「ニコニコ箱」

- 谷 邦浩会員 .. 先週の花見、大変楽しませていただきました。高原先生の元気な顔をみせていただけてうれしかったです。送り迎えされた方ありがとうございます。
- 津々木 透会員 .. 皆出席6年のお祝いありがとうございます。公私ともに少々事情があり出席が難しい時もありますができるだけ出席して楽しみたいと思います。
- 多胡 健吾会員 .. 右下腿蜂窩織炎にて約1ヶ月入院していましたがお蔭様で軽恢し、本日出席できました。もうしばらくよろしくお願ひします。
- 篠田 欣一会員 .. 長男の結婚祝いありがとうございます。孫の顔をみることができるといふか。岡本果奈さん、ようこそいらっしやいました。よろしくお願ひします。
- 樋口 典明会員 .. 岡本会員入会おめでとうございます。楽しくロータリーライフをお過し下さい。
- 伊藤 勝皓会員 .. 先週の花見例会は満開の桜と琴、尺八の生演奏での「荒城の月」楽しかったです。例会前後にカメラをぶら下げてウロウロしましたが出来栄はいまいちでした。

*****~::~~*****~::~~*****~::~~*****~::~~*****

◎次週予告「会員卓話」 戸田清志会員

— 明石は子午線の町です。時間を守りましょう —

*****~::~~::~*****~::~~::~*****~::~~::~*****~::~~::~*****

【職業奉仕】

『ロータリー百話』より

第一話 ロータリーはどのようにして始まったか

針のあるヤマアラシは、寒い日には暖をとるために一群にかたまって走ります。しかし彼らは、針でお互いを刺し合うために、バラバラに散らねばなりません。そのうちにまた寒くなるので同じことを繰り返します。一緒に走ったり、散り散りになったりの過程を数回繰り返したのち、お互いに刺し合わずに、いくらかの暖がとれる程度の適当な距離を発見しました。この寓話は、ある程度の隔たりを置くことが私たちの守る行儀・作法だと教えています。

ロータリーの創設者たちは、冷たい利己的なシカゴの町で、友情の温かみを得、同時にまた仕事上の助けを得るために一緒に走った孤独な青年たちでした。彼らは仲間の全員からどんな仕事を得られるかを知るために、会合の時に出席をとりました。

ヤマアラシのように彼らは何かを得たいと望み、ヤマアラシと同じようにお互いを刺し合って散り散りになり、また別のところで会合するようなことを繰り返していました。集会の場所を変えて「Rotate」（持ち回り）をしていたので「ロータリー」という名が出たのです。

しかしもっと大切なことを彼らは知ってきました。それは何かを得るよりは、何かを与える方がもっと大切であるということでした。ヤマアラシの針のように、利己心は全員を結合させず、かえって分離させていました。そこで彼らは方法を変え、利己心の代わりに奉仕を探りあげました。そして奉仕がロータリーの本質となりました。「最大の奉仕は最大の利益」（He profits most who serves best.）という事実を、体験によって学んだのです。

多年にわたって少しずつ、日に日にロータリアンは「ロータリーを彼らの働く職場において働かしめよ」となってゆきました。使用者が使用人を扱う時に、ロータリー精神を生かし、売手と買手はお互いの取引においてロータリー精神を生かす。ロータリーとは奉仕であり「奉仕こそわが務め」となっていったのであります。

(1995-10-29 広島平和記念館での第六四区地区大会メッセージより)

フランク・E・スペイン)

— 明 石 は 子 午 線 の 町 で す 。 時 間 を 守 り ま し ょ う —